

社会技術としての産学官連携コーディネーションのあり方

著者	佐藤 暢
発行年	2015-03
その他のタイトル	Study on the State and Future of Industry-Academia-Government Collaboration as Science and Technology for Society
学位授与機関	高知工科大学
学位授与番号	26402甲第276号
URL	http://hdl.handle.net/10173/1282

氏名(本籍)	佐藤 暢(高知県)
学位の種類	博士(学術)
学位記番号	甲第276号
学位授与年月日	平成27年3月20日
学位授与の要件	学位規則第4条第1項
研究科・専攻名	工学研究科・基盤工学専攻
学位論文題目	社会技術としての産学官連携コーディネーションのあり方

Study on the State and Future of Industry- Academia

-Government Collaboration as Science and Technology

for Society

論文審査	(主査) 高知工科大学	教授	那須	清吾
	高知工科大学	教授	石谷	康人
	高知工科大学	教授	永野	正展
	元高知工科大学	教授	富澤	治
	高知工科大学	准教授	上條	良夫

審査結果の要旨

1.論文の評価

産学官連携活動は、それぞれが組織間関係の中で如何に活動し、適切な相互作用により学のシーズ、産のニーズを基礎に事業創造を実現するかが問われている。

しかし、この連携活動については、学術的なメカニズムの説明に始まり、その中でのコーディネーターの作用に至るまで論理的な説明、研究がなされてこなかった。

本研究では、この分野としては初めて組織間関係論を基礎とした学術的、論理的に現象を記述し、組織間で働くパースペクティブにおける産学官連携の課題構造を特定した。この課題構造モデルの中で、連携活動が各パースペクティブの中で必要とされるコーディネーターの役割と機能、及びこれらを実行する為の能力を特定している。

この様に、学術的に論理的にコーディネーターの役割、機能及び必要な能力を定義した研究事例は無いことから、意義の高い論文であると考えられる。

2.審査の経過と結果

- (1) 平成27年1月14日 博士後期課程委員会で学位論文の受理を決定し、5名がその審査委員として指名された。
- (2) 平成27年2月13日 公開論文審査発表会及び最終試験を実施した。
- (3) 平成27年2月18日 博士後期課程委員会で学位授与を可とし、教育研究審議会で承認された。